

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	地域食育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要
 近年、食を大切にする意識が希薄になり、健全な食生活が失われつつあることから、個人だけでなく地域や社会をあげて食育に取り組む、健全な食生活を実践する人間を育てることが必要となっているため、食育の推進に取り組むもの
 地域で健康づくりや食育推進の活動をする高松市食生活改善推進協議会の育成・支援
 「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等

30年度概要
 市民の野菜摂取量増加に向けた取組の実施
 健全な食生活の実践を促すため、食育推進事業の実施
 高松市食生活改善推進協議会の育成・支援
 「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等

重点取組事業	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	----	---------	-------------------


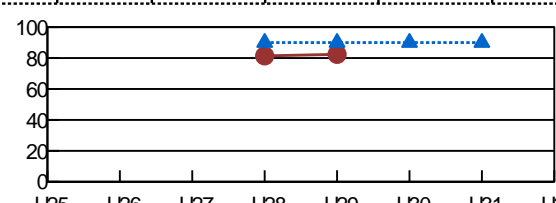

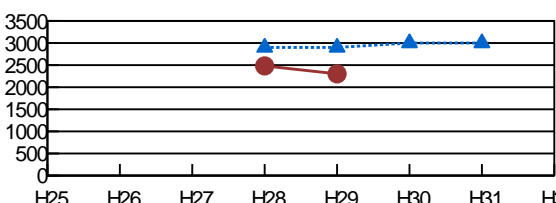
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「食育」への関心度を高め、地域や社会をあげて食育に取り組む

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
伝達講習会開催回数	回		147	152	170	170

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
食育に関心をもつ人の割合	%	目標値		90	90	90	90
		実績値		81.4	82.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標としている90%は達成できなかったが、昨年度より増加している。 							(達成度) 91.6% 32点
伝達講習会参加者数	人	目標値		2,900	2,900	3,000	3,000
		実績値		2,482	2,302		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 昨年度より減少し、目標値に対する達成度も79%にとどまっている。 							(達成度) 79.4% 27点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	31,005	27,671	29,888	29,766
（事業費）	[円]	3,368	3,333	2,575	2,453
（職員人件費）	[円]	27,637	24,338	27,313	27,313

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域食育推進事業について、市民の野菜摂取量の増加や朝食欠食率の減少を目指し、食育の推進を図ったが、目標としていた数字を達成することはできていない。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

より一層の啓発・周知等、広域的な取組を実施していく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	自殺対策推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要
自殺者数は減少傾向にあるが、依然として高い水準にあるため、自殺予防対策として、自殺の背景や原因の多くを占める健康問題、特にうつ病の理解のため、自殺予防の講演会などの開催や自殺予防についてリーフレットを配布するなど広く市民に啓発を行う。また、市内連絡会の開催や職員研修の実施及び相談業務に従事する保健師等の人材育成を図るため、研修会を実施し、相談技術のスキルアップを図る。ひきこもり対策を推進するため、ひきこもり状態の方及び家族等の福祉の増進を図ることを目的にひきこもりサポーター派遣事業を実施する。

30年度概要
・若者支援事業
・自殺予防相談支援事業
・自殺対策職員養成研修（市内連絡会、相談従事者研修、職員研修会）
・うつ病家族教室
・地域・職域啓発事業

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	------	----------	----	---------	-------------------


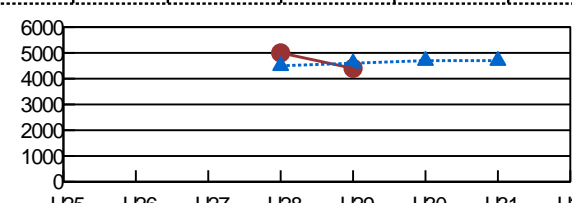

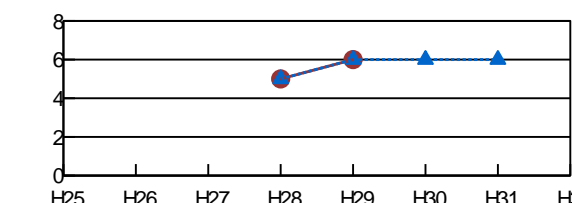
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の心の健康や自殺についての関心を高め、心の不調に気づき、ゲートキーパーの役割が担える人を増やす。また、生活習慣と抑うつ度の関係について、特に関係の深い休養やアルコールなどについて啓発を行う。自殺の増加を防ぐ。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
啓発活動の実施回数	回		186	133	150	150
ひきこもりサポーター派遣回数	回		31	30	30	30

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
健康教育の参加者数	人	目標値		4,500	4,600	4,700	4,700
		実績値		5,000	4,400		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 地区担当保健師があらゆる機会を捉え、こころの健康・休養・睡眠・飲酒及びゲートキーパーについての健康教育を行った。目標に近いが達成には至らなかった。 							(達成度) 95.7% 33点
支援人数	人	目標値		5	6	6	10
		実績値		5	6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） ひきこもり家族会であるNPO法人KHJ香川県オリーブの会やひきこもり地域支援センターアンダンテと連携を図って取り組んだ結果、目標を達成することができた。 							(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	17,803	18,568	18,306	18,671
（事業費）	[円]	3,984	4,436	4,649	5,014
（職員人件費）	[円]	13,819	14,132	13,657	13,657

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

自殺対策基本法の改正により市町村対策計画の策定が求められ、計画に基づいた事業に対して、県から補助金が交付されるようになる。補助金対象の事業拡充もあり、補助対象となる事業も拡充されたため実現可能な事業に取り組む。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

高松市自殺対策計画（仮）の策定に伴い、現状の事業を整理するとともに、ゲートキーパー・睡眠・アルコールについての啓発や若年層への啓発を重点的に行う。また、ひきこもりに関しても、相談からサポーター派遣に繋げていく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	地域保健推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	地区組織の高松市保健委員会連絡協議会に対し、運営助成を行うなど、密接に連携を図りながら、地域に密着したきめ細やかな保健活動を推進する。「高松市民健康の日」に健康都市推進ビジョンの啓発を行い、健康づくりの意識啓発を行う。また、市民献血の推進と献血思想の普及啓発を行う。瓦町FLAG健康ステーションで、委託運動教室を実施するとともに、地域及び企業等に健康運動指導士を派遣して運動教室を開催する。		
30年度概要	保健委員会連絡協議会に対し補助金を交付し、研修会・ブロック会の開催、保健委員会だよりを発行し、健康づくりを主体的に取り組んでいくよう支援する。健康都市推進のため、組織を通じて健康づくりを支援する。瓦町FLAG健康ステーションで、委託運動教室を実施するとともに、地域及び企業等に健康運動指導士を派遣して運動教室を開催する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


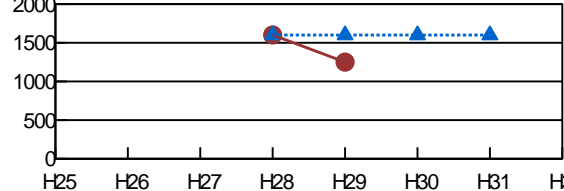

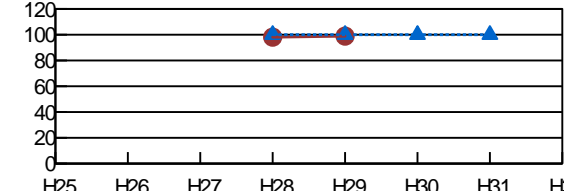
【事業の目的】

対象(何を)	市内の地区保健委員
意図(どのような状態にしたいか)	地域保健組織の活性化を図り、地域での主体的な健康づくりを推進する。 市民の献血思想の普及

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
研修会・ブロック会開催回数	回		6	310	320	320

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
講演会等参加者数	人	目標値		1,600	1,600	1,600	1,600
		実績値		1,601	1,250		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 研修会等の参加者数は、ブロック研修会では増加したが、運動教室の実施回数の減少のため、全体では減少した。しかし、新たに「健康づくりウォーキングマップ」完成記念のイベントを開催し、好評を得た。 	2000	(目標達成度)					(達成度) 78.1% 27点
講演会等参加者満足度	%	目標値		100	100	100	100
		実績値		98.1	98.9		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 研修会参加者の満足度は、瓦町FLAGで実施した委託の運動教室及び「健康づくりウォーキング」で高かった。 	120	(目標達成度)					(達成度) 98.9% 34点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	9,360	10,481	8,640	8,700
(事業費)	[千円]	3,218	4,200	2,570	2,630
(職員人件費)	[千円]	6,142	6,281	6,070	6,070

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

地域コミュニティ協議会及び地区保健委員会に協力を依頼して、「健康づくりウォーキングマップ」を作成し、完成記念のイベントを開催し、好評を得た。今後、地域や職域において運動教室を実施し、運動習慣が身につくよう働きかけていく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

保健委員会組織に対して地域で、より主体的な事業展開ができるよう働きかけていく。瓦町FLAGの運動教室は、コースの見直しを行い、地域や企業等に健康運動指導士を派遣し、運動教室を開催し、運動による健康づくりを推進していく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	保健活動事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	保健師等による訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。		
30年度概要	保健師等による訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	生涯を通じた市民の主体的な健康づくりを促す 健康寿命の延伸

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
保健師活動時間	時間		102,930	115,695	103,000	103,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	参加者の満足度	%	目標値		100	100	100	100
			実績値		82.1	96		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 参加者の満足度は、9割を超えているが、事業により、参加者数が少ない場合もあり、参加者のニーズ等を把握した事業実施の必要性がある。 (目標達成度)							(達成度) 96.0% 33点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	175,206	181,072	174,932	175,134
(事業費)	[円]	31,646	34,258	33,055	33,257
(職員人件費)	[円]	143,560	146,814	141,877	141,877

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

地域のニーズに対応するため、保健師等の活動時間は昨年より約1割増加しているが、産休育休職員の代替の人員確保が困難な状況である。人材育成及び事業の質の担保のために検討会の実施、研修会の開催等を行っている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地域コミュニティ協議会及び地区保健委員会和協働して事業を実施し、より効果的な活動体制を検討する必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	精神保健福祉普及啓発・相談事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	ストレスの多い現代に、こころの病気や治療などについて、こころの健康の正しい知識と理解、対応が求められているため、広く市民に啓発を行うとともに相談事業を実施する。		
30年度概要	こころの健康についての啓発として、「こころの健康セミナー」（統合失調症・睡眠障害・こどものストレス・うつ病・ひきこもり・発達障害）、「アルコールセミナー」等を開催し、家族教室として、「統合失調症家族教室」及び「アルコール問題を考える家族のつどい」を開催する。また、こころの病気、アルコール・薬物、ひきこもり等の健康相談に電話及び来所、家庭訪問で応じる。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民に対して、心の健康についての正しい知識や理解、対応を学んでもらうために啓発事業を実施する。家族教室として、統合失調症やアルコール問題を抱える家族が正しい知識と対応を学ぶために実施する。こころの健康相談を実施し、相談者の支援を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
啓発事業・家族教室の開催回数	回		22	24	24	24

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	啓発事業・家族教室の参加者数	人	目標値		451	470	510	510
			実績値		469	690		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 開催回数は維持でき、参加者数も増加した。（目標達成度）							(達成度) 146.8%
								35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	26,138	26,110	25,822	25,863
（事業費）	[円]	3,107	2,557	3,061	3,102
（職員人件費）	[円]	23,031	23,553	22,761	22,761

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

開催時期や周知方法により参加人数にばらつきはあるものの、興味のある内容については増加傾向である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

こころの健康セミナーの内容に、睡眠やこどものストレスといった内容を追加し、相談の多い発達障害も引き続き実施する。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	精神障害者社会復帰支援事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要
 地域で生活している精神障害者は、偏見や病状のため孤立しやすく、社会復帰施設の整備も十分でないため、安心して暮らすことが難しい現状がある。デイケアや当事者のための生活スキルアップセミナーにより、社会参加を促し、病気とのつきあい方などを学び、再発を防ぎ、安心して暮らせるスキルを身につけるためのグループ活動を実施する。また、障害者を支えている家族が活発に活動することで、作業所などの社会資源の開発や病気の再発防止に繋がるため、家族会の運営補助を行う。

30年度概要
 デイケア及び当事者のための生活スキルアップセミナーを実施することにより、精神障害者の自立を促進する。また、精神障害者家族会に対して、運営補助金を出して支援する。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	在宅の精神障害者で自立支援医療の受給者
意図(どのような状態にしたいか)	地域で生活する精神障害者が、デイケアなどに参加することで地域で孤立せず、心の安定を図り、生活の幅をひろげ社会参加を推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
デイケア実施回数	回		60	62	72	72

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標	デイケア参加者延べ数 成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標に近い達成状況である。今後中期目標値に向けての取り組みを検討する必要がある。 (目標達成度)	人	目標値		530	540	710
			実績値		529	533		
								(達成度) 98.7% 34点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)		目標値					
			実績値					
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[円]	7,925	8,112	7,606	7,864
(事業費)	[円]	3,319	3,401	3,054	3,312
(職員人件費)	[円]	4,606	4,711	4,552	4,552

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

定期的な開催と新規利用者へのフォローもしながら実施できた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

デイケアは、当事者の社会参加促進のため、引き続き SST を定期的に取り入れる。デイケア及び当事者セミナーは、参加者の希望や意見により、利用可能な施設の見学と交流会を行う。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	難病患者地域支援ネットワーク事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	病気の原因が不明で治療法が確立していない難病患者やその家族に対して、関係機関との連携を図り、様々なニーズに応じた相談・支援を行う事で、患者・家族の生活の質の向上・精神的負担軽減を図る。		
30年度概要	訪問依頼のある難病患者への保健師・医療機関専門職の個別相談事業 難病医療相談会・交流会の開催 難病患者を支える専門職の研修会の開催		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	難病患者とその家族 難病患者関係機関
意図(どのような状態にしたいか)	適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質の向上を図るとともに、地域の医療機関等の連携により生活の場を整備する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
難病訪問相談指導延べ回数	回		660	799	820	820
難病講演会・相談会・交流会開催回数	回		3	4	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	事業参加者満足度	%	目標値		90	90	90	90
			実績値		100	90		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 難病相談会・講演会・交流会の3事業についてアンケートを実施した結果、参加者の満足度は90%だった。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	8,601	8,807	8,537	8,556
(事業費)	[円]	156	171	191	210
(職員人件費)	[円]	8,445	8,636	8,346	8,346

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 難病患者への支援の依頼について、本人及び医療機関から連絡があり、関係機関と連携して関わり、困難事例は事例検討会を開催して連携を強化して支援を行っている。40歳未満の患者の支援は選択肢が限られる。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 難病患者及び家族のニーズを把握し、訪問相談を行うとともに、講演会や相談会、交流会を開催する。			

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健対策課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2860
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	骨髄等移植ドナー支援事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	骨髄移植・末梢血幹細胞提供者の増加、及び骨髄等移植の推進を図ることを目的として、骨髄移植のための骨髄等の提供に要した費用の一部に相当する額を助成する。				
	30年度（市内に事務所を有する事業所に限る。） ドナーへの助成及びドナーの勤務している事業所への助成				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	20歳～55歳の市民
意図（どのような状態にしたいか）	骨髄等を提供する者の増加及び多くの骨髄等移植の実現を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
ドナーへの助成件数	件		2	1	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値 実績値				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値 実績値					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]		985	909	1,209
（事業費）	[円]		200	150	450
（職員人件費）	[円]		785	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） ドナーへの助成 1 件とドナーの勤務している事業所への助成 1 件を行った。引き続き、助成制度の周知に努める必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後とも、助成制度について周知及びドナーの登録についての啓発に努め、登録者の増加を図る。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	8020（歯科保健）推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	「生涯を通じた歯の健康づくり」を図ることを目的とした8020運動推進の一環として、妊娠期～乳幼児期～成人期～老年期を通じ、それぞれのライフステージに応じた歯科保健事業を実施する。		
30年度概要	妊婦および成人歯科健診を市医師会等と委託契約し、実施する。妊婦歯科健康診査受診票は妊娠届出時に交付する。特定保健指導教室において歯の健康と全身の健康について啓発を実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「生涯を通じた歯の健康づくり」を図ることを目的として、あらゆるライフステージにおいて、継続して歯科保健への意識を高める。 家庭での口腔管理（セルフケア）が実施できるようになる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
幼児歯科健康診査対象者数	人		6,167	3,765	3,700	3,700

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	幼児歯科健康診査受診数	人	目標値		1,700	1,100	1,100	1,100
	実績値			2,098	1,969			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	目標に達している。							179.0%
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	目標に達している。							35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	9,980			
（事業費）	[円]				
（職員人件費）	[円]	9,980			

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	40歳、50歳の受診率が低いことから、受診勧奨の工夫を行い、歯科健診の推進を図る。		
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）	「歯と口の健康」を守るために、歯科医師・歯科衛生士による出前講座を事業所で実施する。		